

令和2年度事業計画

1. 基本方針

文化、経済、学術、マスコミ、行政をはじめ多様な分野で活躍している方々と連携し、それぞれの枠を越えた交流を通じて、「滋賀県文化振興条例(平成21年7月制定)」の趣旨を踏まえた「文化で滋賀を元気に！」する事業を推進。もって、県内の文化活動が活性化し、滋賀県の文化・経済の発展に寄与することを目的とする。

平成23年2月設立以来、10年目の節目となる当フォーラムは、文化の多様な価値が注目されるなか、文化と様々な分野が連携した創造的な活動が広がるよう、引き続き、「文化で滋賀を元気に！」するプロジェクトや情報交換の場を提供するなどの各種事業を推進する。

2. 事業内容

(1) 「文化で滋賀を元気に！」するプロジェクトの実施

① 「2020 文化で滋賀を元気に！賞」の実施

文化の力で、活力あふれる地域社会の実現に貢献されている団体または個人に、感謝と今後の活動を期待して表彰する。

県民または県内団体から「2020 文化で滋賀を元気に！賞」にふさわしい活動を推薦していただき、選考委員会で選考後、最も優れた活動には大賞(1件)を、各賞(若干数)は推薦者から提案された名称に基づき賞名を決定し、表彰する。

表彰式は、次年度の総会で行い、受賞者に表彰状と賞金を贈呈する。

② 「文化で滋賀を元気に！」する調査研究、提言

滋賀県の文化の振興について調査研究を行うとともに、地域経済の振興という観点から文化を考え、新しい構想やプロジェクトを提言していく。

ア 文化ビジネス塾

企業活動に文化が織り込まれ、その結果として文化の活性化につながる「文化ビジネス」について、企業経営やアーティスト活動の現状を共有し議論・交流する場を設け、これからの「文化ビジネス」を考える。

イ 文化で滋賀を元気に！シンポジウム

これまでの提言をはじめ当フォーラムの取組から、文化で滋賀を元気にするための方策を議論するシンポジウムを開催する。

ウ 提言研究

「文化ビジネス塾」「文化で滋賀を元気に！シンポジウム」など、当フォーラム事業と連携しながら、滋賀県の文化と経済について、新たな展開につながる提言を行う。

③ 「文化で滋賀を元気に！」シンボルマークの利用促進

県内において文化振興に関する事業でのシンボルマークの利用を通じ、「文化で滋賀を元気に！」していく気運や一体感が醸成されることを目指す。

(2) 「文化で滋賀を元気に！」する情報交換の場の提供

① 総会・講演会・交流会等の開催

総会時に、講演会および交流会とともに、「2019 文化で滋賀を元気に！賞」表彰式、提言発表に加え、びわ湖ホール声楽アンサンブルによる演奏会を行い、多様な分野の方々との情報交換の場とする。

日 時：2月11日(火・祝) 14:00～18:10

会 場：琵琶湖ホテル「瑠璃」

ア 講演会

演 題：「ふるさと、どんどん、ちかくなる -大好きなだいすきな近江-」

講 師：澤田 康彦 氏 (編集者・エッセイスト、『暮らしの手帖』前編集長)

イ 「文化で滋賀を元気に！」する提言発表

提 言：『文化で滋賀を元気に！多様な人材を育む地域活動の推進』

ウ 「2019 文化で滋賀を元気に！賞」表彰式

エ びわ湖ホール声楽アンサンブル演奏会

オ 第10回総会

<議 案>

第1号 令和元年度事業報告(案)について

第2号 令和元年度収支決算(案)について

第3号 令和2年度事業計画(案)について

第4号 令和2年度収支予算(案)について

カ 交流会

② 「文化経済サロン」の地域開催

各方面で活躍されている方を講師に招き、話題提供を通して講師と会員等が自由に語り、情報交換できるよう、県内地域において「文化経済サロン」を各種団体と協働で開催し、新たな出会いや交流の場を創出する。

③ 「文化経済アートステージ」の開催

会員ネットワークを活かして県内各地に出かけ、会員企業の社屋やゆかりのある施設で演奏会等を開催し、企業、演奏家および地域の方々が出会い交流し、文化芸術を身近に感じていただく場とする。(5月24日(日)、ガリ版伝承館(東近江市蒲生岡本町)にて開催予定)

(3) 「文化で滋賀を元気に！」する広報活動の展開

① ホームページによる発信

当フォーラムの紹介や入会案内をはじめ、各種事業や「文化で滋賀を元気に！」シンボルマークの利用促進等に関する情報を発信する。

② ニュースレターの発行

当フォーラムの事業の告知や結果、会員の活動案内、投稿などを掲載したニュースレターを発行する。

③ 会員活動チラシの送付

会員の文化活動や企業活動のチラシ等を随時会員に送付する。

(4) 「文化で滋賀を元気に！」する事業への後援、参画等

「文化で滋賀を元気に！」する事業への後援、参画等を行うことにより、魅力ある事業を応援するとともに、さまざまな分野とのネットワークを広げる。

以上